



平成 30 年 2 月 16 日

各 位

会 社 名 佐 渡 汽 船 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 小 川 健  
( J A S D A Q ・ コード 9 1 7 6 )  
問 合 せ 先  
役 職 ・ 氏 名 総 務 部 長 土 屋 亨  
電 話 0 2 5 - 2 4 5 - 2 3 1 1

## 平成 29 年 12 月 期 通 期 の 業 績 予 想 値 と 実 績 値 と の 差 異 及 び 特 別 損 失 の 発 生 並 び に 期 末 配 当 予 想 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成 29 年 11 月 13 日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した業績予想値と本日公表の実績値との差異について、下記の通りお知らせいたします。

記

### 1. 平成 29 年 12 月 期 通 期 連 結 業 績 予 想 値 と 実 績 値 と の 差 異 ( 平 成 29 年 1 月 1 日 ~ 平 成 29 年 12 月 31 日 )

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	百万円 11,404	百万円 134	百万円 19	百万円 △31	円 銭 △2.20
当期実績(B)	11,391	86	△32	△201	△14.24
増減額(B-A)	△13	△48	△51	△170	
増減率(%)	△0.1	△35.6	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 12 月 期)	10,959	△172	△305	△529	△37.43

### 2. 平成 29 年 12 月 期 通 期 個 別 業 績 予 想 値 と 実 績 値 と の 差 異 ( 平 成 29 年 1 月 1 日 ~ 平 成 29 年 12 月 31 日 )

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	百万円 8,079	百万円 △23	百万円 △12	円 銭 △0.88
当期実績(B)	8,083	△42	△192	△13.55
増減額(B-A)	4	△19	△180	
増減率(%)	0.1	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 12 月 期)	7,630	△372	△567	△39.97

### 3. 修正の理由

#### (1) 連結業績

連結営業利益及び連結経常利益につきましては、売上高が前回予想を若干下回ったこと、建物等の修繕費が増加したことに加え、当社グループにおきましては、連結業績の中で当社の占める割合が大きいため、「(2) 個別業績予想」に記載の通り、当社の業績が前回予想を下回ったことに伴い、連結の業績は前回予想を下回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、「4. 特別損失の計上について」にて後述の通り、特別損失を計上したことにより、前回予想を下回りました。

以上の理由により、売上高 11,391 百万円、営業利益 86 百万円、経常利益△32 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益△201 百万円に修正いたします。

#### (2) 個別業績

売上高につきましては、ほぼ見込み通りとなりましたが、経常利益につきましては船舶修繕費等が増加したことにより、前回予想を下回りました。

当期純利益につきましては、「4. 特別損失の計上について」にて後述の通り、特別損失を計上したことにより、前回予想を下回りました。

以上の理由により、売上高 8,083 百万円、経常利益△42 百万円、当期純利益△192 百万円に修正いたします。

### 4. 特別損失の計上について

#### (1) 減損損失

当社及び連結子会社は、当初想定していた収益が見込めなくなったため、「固定資産の減損に係る会計基準」等に基づき、保有する固定資産（事業用資産及び賃貸用資産）の減損処理を行いました。その結果、減損損失として個別決算で 95,801 千円、連結決算で 139,337 千円の特別損失を計上しております。

#### (2) 関係会社株式評価損

売上高の減少及び減損損失計上により、当社が保有する連結子会社株式について実質価額が著しく下落することから、個別決算に關係会社株式評価損 2,024 千円を特別損失として計上しております。

なお、關係会社株式評価損は、連結決算においては消去されるため、連結損益への影響はありません。

#### (3) 關係会社事業損失引当金繰入額

当社は、連結子会社の支援に伴う損失に備えるため、当該連結子会社の財政状態を勘案して引当金を計上するものであります。その結果、個別決算に關係会社事業損失引当金繰入額 61,791 千円を特別損失に計上しております。

なお、關係会社事業損失引当金繰入額は、連結決算においては消去されるため、連結損益への影響はありません。

### 5. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (平成 29 年 2 月 17 日)	円 銭 —				
今回修正	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成 28 年 12 月期)	—	—	—	0.00	0.00

#### 修正の理由

利益の配分にあたりましては、今後の経営環境の変化と計画的な設備投資に備えて一部を内部留保し財務体質の強化に努め、収益の向上を通して株主には安定した配当を維持することを基本方針としておりますが、平成 29 年 12 月期の期末配当につきましては、個別の通期業績が赤字であることから、誠に遺憾ながら前回予想（平成 29 年 2 月 17 日発表）の未定から無配とさせていただきます。

以 上